

第 38 回

奈良透析学術総会が 2 月 2 日(日)
に奈良県文化会館にて開催されま
す。

当院からは、臨床工学科
村岡 進広 技士が座長として出
席し、北村 充吉 技士が学術発
表を致しますのでご紹介します。

第38回奈良透析学術総会・一般演題抄録

領域（症例）

Blue toe症候群を呈した透析患者にLDLアフェレーシス（LDL-A）が著効を示した1例

医療法人 康仁会 西の京病院 臨床工学科¹⁾ 同透析センター²⁾

○北村 充吉(キタムラ アツヨシ)(T)¹⁾ 宮島 寛(ミヤジマ ヒロシ)(T)¹⁾ 上西 大輔
(ウエニシ ダイスケ)(T)¹⁾ 二神 徳明(フタガミ ノリアキ)(T)¹⁾ 野口 幸(ノグチ
ミユキ)(T)¹⁾ 青木 昭美(アオキ アキミ)(N)²⁾ 吉岡 伸夫(ヨシオカ ノブ
オ)(D)²⁾ 高比 康臣(タカヒ ヤスオミ)(D)²⁾

【症例】83歳男性。主訴は両下肢痛（RutherfordIII-5）。2012年8月糖尿病性腎症のため透析導入。2014年11月Blue toeを伴う両足肢痛が出現したので、MRAを行ったところ両側の膝下動脈に高度狭窄病変を認めた（両前頸骨動脈・両腓骨動脈完全閉塞）。また、痛み指標であるVAS（Visual analog scale）は5点であった。SPPは右足背(RD)/足底(RP) 22/50mmHg、左足背(LD)/足底(LP) 45/28mmHgで、循環器内科紹介したところ、CCEが疑われ、LDL-A療法を開始した。LDL-Aは計10回行い、治療後のSPPはRD/RP 60/80mmHg、LD/LP 64/56mmHg、Blue toeは消失、VASは両側0点に改善した。

【結語】PAD合併透析患者はCCEを発症しやすく、治療にも難渋する。PTAは末梢動脈の血流改善に有効であるが、さらにCCEを増悪させる可能性がある。今回我々は、CCEにLDL-A単一治療だけで良好な経過をたどった症例を経験したが、PTAを行わず早期にLDL-Aを選択する方法も有効と思われた。

（Key Words） CCE、LDLアフェレーシス、PAD